

7月9日（木） おおあめ大雨

きゅうしゅう九州のくまもとけん熊本県では、おおあめ大雨で、ひがいたいへんな被害がで出ています。テレビでもそのようす様子がほうそう放送されているので、そのすごさすごさは、みな皆さんもわ分かつおもと思います。

でもどうして、くまもとけん熊本県のあのへん辺にあめ雨がしゅうちゅう集中してふ降ったのでしょうか。このおおあめ大雨、ごうう豪雨は、せきらんうん積乱雲というくも雲がふ降らせているようです。せきらんうん積乱雲とは、くも雲の中なかでもいちばん一番おお大きなくも雲です。

おお大きなものでは、10kmをながこえる長さがあるといひます。

そのせきらんうん積乱雲が、つぎつぎ次々にう生まれて、おび帯のようになら並び、おな同じちいき地域に、はげあれだけあめ激しいふ雨を降らせたといひことですです。

また、ことし今年、つゆ梅雨のじき時期にあめ雨を降らせるくも雲のかたまりかたまり（ばいう梅雨ぜんせん前線）に、すいぶん水分をたつぷりたっぷりふく含んだあたたかいあたたかいかぜ風がなが流れこ込んだことでで、おおあめ大雨きになった、きとも聞ききました。

きのう昨日のメッセージメッセージにか書いた、プラスチックプラスチックごみごみともかんけい関係あるようようです。ちきゅう地球のおんど温度があどんどんあ上がらって、このこのようようなおおあめ大雨をふらせることにももつなつながらっているようようです。

いま今は、くまもとけん熊本県でおおあめ大雨のひがい被害がつづつづいていまいますが、もしもしいる入間市まし市にあおのようなおおあめ大雨がふ降らったら、どうどうなるでしょうか。

村越 新